

次代の都市は私たちが主役

都市は時間をかけて形づくられ、新しい世代へと受け継がれていく。いま都市再生をきっかけ、事業がすすめられている都市を、これから生活の場とするUR都市機構の若い世代のみなさんに、いま活躍中の人気タレント眞鍋かをりさんを囲んで、都市を語り合ってもらった。



眞鍋 かをりさん
1981年3月31日生まれ。横浜国立大学卒業。趣味はパソコン、料理。テレビNTV系「爆笑問題のススめ」、NHK系「サイエンスZERO」、CTV系「WAKU WAKU」をはじめ、ラジオJOOR / ライオン「レレレのレ」にレギュラー出演中。ドラマや映画でも活躍中。写真集「Kawori」(発売元:ワニブックス)ほか多数。



早川 昌志
神奈川地域支社 業務第一部



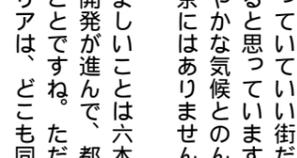
柏木 大輔
埼玉地域支社 業務第二部



赤埴 文子
東京都心支社 都市再生企画部



沖山 観介
本社 地方都市業務部



藤本 伸
募集販売本部 販売推進部

(参加者の所属部署は2005年6月現在)

——日本の都市と暮らしを考えた時に、好ましいことと好ましくないことがあるうかと思いますが、皆さんの考えをお聞かせください。

早川 好ましいことは公共機関が発達して生活利便施設が多いこと、そして仕事がいっぱいあることでしょうか。好ましくないところは、地域のコミュニティが都市では脆弱なことですね。好きな街は出身地の名古屋にはもちろん思い入れがありますが、東京では吉祥寺がいいですね。

柏木 好ましいことは、今日埼玉から京浜東北線でこちらに向かいながらも感じたのですが、上野、秋葉原、東京駅周辺などそれぞれに雰囲気があつて個性の強さがいいところだと思います。しかし、最近は先程の話にもあつたように便利になつてきたことで、どの街も個性が薄まつてきていて、世界に対して日本の都市はこうだと端的に言えないことが好ましくないなと思つてます。兵庫県出身でこの街が好きかと聞かれたら断然地元の神戸(笑)。山と海が近くて昔からの雰囲気が残つていていい街だよと世界の人にも言えると思つています。それに、瀬戸内の穏やかな気候とのんびりとした雰囲気は東京にはありませんから。

片岡 好ましいことは六本木とか汐留のように再開発が進んで、都市が身近で便利になることですね。ただ、そういった再開発エリアは、どこも同じように超高層ビルが立ち並び、お聞かせください。

赤埴 私の担当している街のひとつは自由が丘です。自由が丘では商店街をよりよくしていこうと、地元行政のお手伝いをしています。地元の方々の考え方と行政の考え方やペーセスを考慮しながら力を合わせて、商店街の活性化に取り組む仕事です。どうすれば自由が丘らしさを損なわずに地元の方が納得される街づくりにならなければならないかを考えています。かたや国交省の河川事務所さんといつしよにやっているスパー堤防整備事業とあわせて行う市街地整備事業の検討は、水害の恐れのある場所の防災性の向上にかかわる仕事です。住民の方々に必要性を理解していただき、協力していただかなければならない息の長い仕事で、国や地元行政と地区の方々との意向をどうつなぎあわせていくかという仕事です。

早川 私は神奈川の再開発事業を主に担当しています。横浜中華街から県庁にかけての山下町のあたりとか武蔵小杉駅周辺における事業の一端を担っています。再開発事業とは、時代の要請にしたがつて壊して建替えたり、また手を加えて再生させたりする事業です。時代の流れは激しくて商店街でもシャッター通りになつてしまつていくところもあるし、吉祥寺のように賑わいがあり、迷路のようになつていて探検するのがむしろ楽しい商店街もあります。時代の要請とは、活力が低下している商店街を再生していくこと、そして一般の住宅でも木造住宅が多くて大震災があつたら被害がやすいと

沖山 大都市の好ましいところはいろいろな機能が混在していることですね。好ましくないのは大きすぎることですね。例えば東京は、通勤に2時間かかったり車でも渋滞している範囲が大きい。一方で、仙台だとかでは、まちは都会でありながら、30分ほどで海や山があつてスキができたりますから。東京で好きな街は吉祥寺で、狭い範囲にいるんなものが詰め込まれている。井の頭公園にはまだ自然があつて、その奥に行くくと静かな

層のビルが並んでいるだけで、景観が画一的で街の特色がでないことが好ましくないですね。好きな街は、皆さんと同様に、やはり地元の高知の伊野です。和紙が有名で、5月には、鯉のぼりを作つて川の上を泳がせる行事があります。人口2万8千人のまちなのに、毎年2万人ほどの人出があるそうです。産業とまちが密着していて、人と人がつながつていいる。小さなまちですが、昔からの伝統やまちの特色を大切にしているところが好きです。

藤本 都市の好ましさは、生活が便利だということ。商業施設やサービス施設が充実して、思つたらすぐ行動できますからね。反面好ましくないことは人が集中して通勤も大変で、電車の事故や災害などがあるとパニックになつてしまうことですね。好きな都市は26年間生まれ育つた地元のさいたま市です。大宮や浦和にJリーグのサッカーチームがあつて大きな競技場もあり、スポーツと一体となつた街づくりが進んでいます。浦和レッズの練習場が自宅から近くて見にいったりします。さいたま市は住むだけじゃなくてそんな付加価値があつていいなと思つています。

赤埴 私も街の特性があつた方が楽しいなと思つてます。その街その街での文化というの、日本で新しい街をつくることとまわりをみていいところがあると思つてくるといふ考え方が多いと思うのですが、立地の特性や歴史などをいかに、魅力のある街が増えたと嬉しいですね。私が好きな場所は、また行きたくなる、その場所の歴史を感じさせるような街です。例えば、京都の下賀茂神社の



眞鍋さんの出身地 愛媛県西条市は水の都 湧水を活かした陣屋跡のお堀



田圃の間の道を下校する 県立阿久比高校生



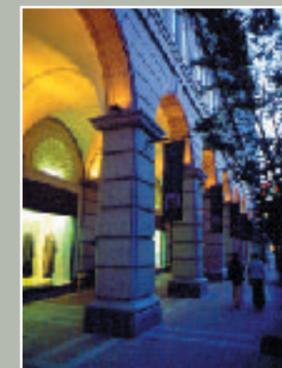
田圃の中を走る名鉄電車 名古屋へ30分の距離 阿久比(あくい)町



活気が溢れる名古屋駅周辺



六甲の緑を背に あくまでも明るい港湾都市 神戸



居留地のイメージを継承 神戸 大丸



つくばエクスプレス開業間近 変貌する 東京 秋葉原界隈